



永平寺町

第42号

平成28年4月15日発行

議会だより



浅見雅楽保存会
(※ 最終ページに紹介記事)

議会と語る会 テーマ

ストップ。 人口減少・少子化

議員定数4減を決定！
そこが聞きたい！（議員17人が一般質問）



自由なご意見、お聞かせください

議会と語る会

4月 26^(火)日 27^(水)日 28^(木)日

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索

ストップ 人口減少・少子化

議会と語り合

4月26^(火)日・27^(水)日・28^(木)日
午後7:30～ 開催予定



永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略

地区でのお話、アンケートでのご意見

- ・地区の小学校の児童がいなくなった子供が少なくなると「おらが学校」はどうなるのか…
- ・(地域が) 高齢化しており、すでに若者が少ない
- ・雇用があれば人は来るはずだ
- ・子育てにやさしい政策づくりには、大きな魅力を感じます

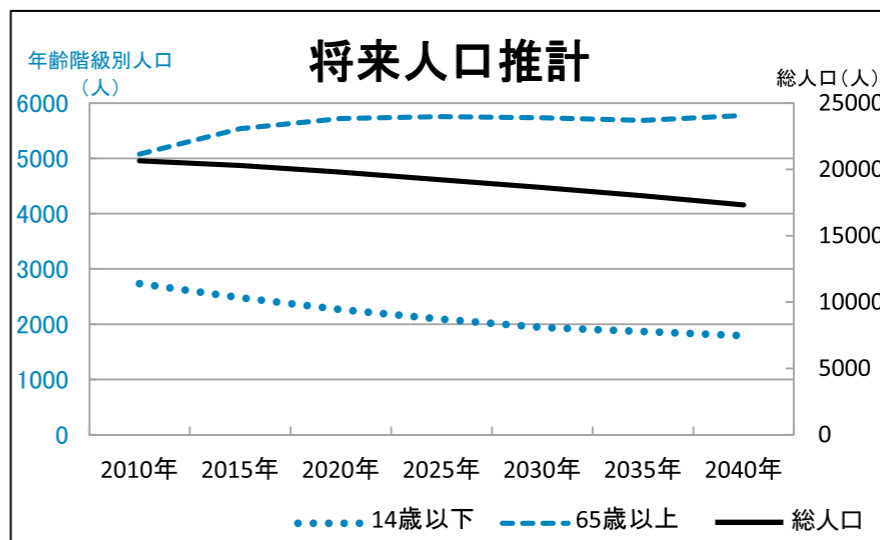
人口減少と少子高齢化に向き合い「住みたくなるまち」の実現を目指す「永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～平成31年度)」は4つの基本目標を設定。

- 基本目標Ⅰ** 永平寺町の地域特性を活かした、結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標Ⅱ** 永平寺町の地域資源を活用した安定雇用を創出する
- 基本目標Ⅲ** 永平寺町への新しい人の流れをつくる
- 基本目標Ⅳ** 永平寺町らしさを活かして、時代にあった「誰もが住みやすい」まちをつくる

(議会だより第41号で紹介)

今後の永平寺町の人口動向

国立社会保障・人口問題研究所の推計より



2040年の永平寺町の総人口は、2010年から**3,325人減少(比率で16%の減少)**して**17,325人**になると推計される。

2040年と2010年の人口における年齢階級別状況を比較すると、**65歳以上の人口が700人増加(14%増加)**する一方で、**14歳までの人口が941人と大きく減少(比率34%減少)**する推計となっている。

“ストップ 人口減少・少子化” 現状と課題、施策は

議員定数14名に決定

4名減

当議会では、議員定数・議員報酬・政務活動費について、議員間討議、専門職の講義、議会と語り合を通じて検討してまいりました。この3月議会において、議員定数を現在の18名から4名削減の14名に決定しました。

その背景には、地方交付税の削減により厳しくなる町財政、定数設定の大きな基準となる人口の減少化、近隣市町の定数削減などがあり、議会自ら定数削減することとしました。

また、町民からの厳しい意見や期待の声を大切に、行政監視・民意吸収・政策提言の三機能が十分働くよう、議員の自覚と仕組みづくりをしていくこと。議員報酬・政務活動費についても、今後協議していくこととしています。

永平寺町人口	2010年		2040年	増減
総人口	20,650人	→	17,325人	16% 減
年少人口(15歳未満)	2,733人	→	1,792人	34% 減
生産年齢人口	12,840人	→	9,756人	24% 減
老年人口(65歳以上)	5,077人	→	5,777人	14% 増

目指すべき将来人口

2060年に**19,000人**程度の人口の維持を目指す

永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略“ストップ 人口減少・少子化”主な基本施策

- ☆ 保育サービス(延長・夜間・休日保育など)の強化
- ☆ 効果的な学校給食費無償化事業の実施
- ☆ 世帯特性にあわせた子育て環境の整備
- ☆ 子育てしやすいまちえいへい就業支援制度(仮)の創設
(基本目標Ⅰの基本施策より)
- ☆ 地域資源を生かし、ターゲットを絞った企業誘致
- ☆ 永平寺町版高齢者移住制度(生涯活躍のまち)の検討
(基本目標Ⅱの基本施策より)
- ☆ 定住促進支援策の実施
- ☆ ほどほど田舎移住体験事業の実施
- ☆ 特色ある宅地造成プランの策定
- ☆ 空き家等利活用による定住の促進
(基本目標Ⅲの基本施策より)
- ☆ 産学官、地域間連携によるコミュニティ活動の活性化
(基本目標Ⅳの基本施策より)

*詳細は、「永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成27年10月 永平寺町」

身近な地域の“ストップ 人口減少・少子化”について語りましょう

平成28年 第1回定例会報告

平成28年第1回永平寺町議会定例会は、2月23日（火）から3月11日（金）まで18日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、永平寺町教育委員会委員には、永平寺町松岡松ヶ原 栗田 浩史氏を任命同意しました。

第1回定例会議案		議案第15号 行政不服審査会条例の制定	可決
承認第1号 平成27年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第16号 行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決
議案第1号 平成27年度一般会計補正予算	可決	議案第17号 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決
議案第2号 平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	議案第18号 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第3号 平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	議案第19号 人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第4号 平成27年度介護保険特別会計補正予算	可決	議案第20号 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第5号 平成27年度下水道事業特別会計補正予算	可決	議案第21号 税条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第6号 平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	議案第22号 永平寺開発センター条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第7号 平成27年度上水道事業会計補正予算	可決	議案第23号 消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第8号 平成28年度一般会計予算	可決	議案第24号 消防本部消防職員定数条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第9号 平成28年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	議案第25号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第10号 平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	議案第26号 福井県市町総合事務組合規約の変更	可決
議案第11号 平成28年度介護保険特別会計予算	可決	議案第27号 林業振興集会センターの譲与	可決
議案第12号 平成28年度下水道事業特別会計予算	可決	議案第28号 教育委員会委員の任命同意	可決
議案第13号 平成28年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	発委第1号 議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第14号 平成28年度上水道事業会計予算	可決	議案第29号 議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	可決

議案への賛否一覧

議席順に掲載（○賛成 ×反対 一欠席 □退席）※議長（川崎直文）は採決に加わりません

	上坂	滝波	長谷川	朝井	酒井	江守	小畑	上田	金元	樂間	齋藤	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等27件については全員賛成です。

議会行財政改革特別委員会報告

委員長 滝波登喜男

当委員会は、2月22日、出席委員15名、欠席2名で、議員定数について協議した。議員定数については、過去9回の協議を基に各議員の考えを述べ、集約した結果削減することになり、改正数について、16、15、14人で採決した結果、14人が過半数を超えたので決定した。定数条例改正案を3月定例会で提出し、賛成多数で決した。

なお、議員報酬、政務活動費については、協議時間不足となり、次回の委員会で引き続き協議することとなった。

議案への賛否討論

議案第8号

平成28年度

一般会計予算

反対討論

金元 直栄

町民へ必要な予算が含まれていることは認めるが、合併後の10年を批判的に深掘りすることが見られないこと。○専門職員の採用も、未だ具体的には見えない。○地域振興組織を生かした町づくりと町長は言うが、町長の姿勢つたという事を分かっていない。○道の駅オーブンも、地域を見渡した町づくりの方向性、地域の商店を残そう、というものが見られぬ。○定住促進の要、住宅提供でも長年の経験から示してきているのに、町は耳を貸さず決断が遅い。○高齢者対策では、根本的強化の方向が見られない。等々の理由で反対する。

賛成討論

齋藤 則男

この予算案については、議員全員による予算委員会において委員長報告のとおり十分に審議を尽くされ、また疑問点等々については都度、総括質疑等においての理事者の説明において理解されたものである。○予算執行において、委員会における各委員からの指摘事項及び意見等については、重く受け止めて、適切に執行されたい。○この予算は、直接住民の生活を左右し、議会としては、慎重に審議に当たったものであり、速やかに成立することを望み賛成する。

議案第9号

平成28年度

国民健康保険事業特別会計予算

反対討論

金元 直栄

国民健康保険は国の制度改定で負担増が加わったり、退職者を一般国保に入れ

ることで、会計の状況が悪化している。27年度は一般会計から支援をしたがそれも見られない。よって反対する。

賛成討論

齋藤 則男

本町の健康保険事業は、これまで加入者の利便性を図り、常に健全に運営されており、加入者の健康管理と疾病の早期発見、早期治療を主眼に人間ドックの助成等々を実施し、医療費の高騰を抑える努力をしている。また、低所得者に対する納税の軽減措置、未納者に対する納税の相談等、町としての独自の取り組みとしている。○も、この予算が執行されないことになると、保険診療に支障がおきる状況にもなりかねない。よってこの予算案に対し賛成する。

議案第11号

平成28年度

介護保険特別会計予算

反対討論

金元 直栄

本来の制度は、保険料を払い、要介護認定を受け、10%の利用負担をすれば、希望するサービスが受けられるとしてきたが、今では金のない者は施設に入ることすら望めぬ制度となってきたこと。高齢者筋力レやサロン事業等は町の福祉事業。町会計から支援すべきだが、それも見られないことなどから反対する。

賛成討論

齋藤 則男

この介護保険制度は、助け合う国の制度として、スタートした。永平寺町にとってどのような利益が得られるか、また町として国の方針を見つめて町独自の方策等も模索し、この制度を活用すべきである。

我々議員としては、是は是、非は非として、地域住民のために小さな町から大きな声を国や県に届ける役割を果たすこと

で町民の利益につなげたい。この制度の町の取り組み、その姿勢を期待し、本予算を原案のとおり賛成する。

発委第1号

議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定

反対討論

上坂 久則

4名減の定数削減は、町民に対して説明ができない。町民との語る会において、定数削減すべきとの意見があったことは事実である。一方、町内において議員がいらないと行政は耳を傾けてくれない（定数維持）との意見もあった。私は2名減の16名であれば認められる。定数減は、将来に渡り住民の権利を縛ることになる。3月議会において議会の意思を明確にする町民に説明したことは承知している。しかしながら、町民に説明不足であり条例可決は、拙速な行動である。議会で制定した「議会基本条例」の本文に書かれている「開かれた議会、町民に対する十分な説明や理解を求めると」の規範行動に違反しているのではないかと、町民の代弁者である私は、責任と自信を持って反対である。

賛成討論

奥野 正司

少子高齢化、人口減等自治体を取巻く社会経済的環境変化は激しく進行し、自治体の財政難も相まって全国的に議員定数の見直しは急速に進んでいる。本町議会においても昨年より行革委員会での勉強会、討議、討論、議会と語る会での意見交換を重ね、議会機能を失わず行財政改革の視点から定数を14名と決めた。これを支持する。

反対討論

金元 直栄

近年、町長に権限が集中する制度となる中、町長の専制に対し、議会のチェック機

能を弱めることには反対だ。さらに若い人や女性が出にくい条件となり、多様な意見も出にくくなる。少ない議員となれば特権化すること。一方で行革のため、と言うが、その舌の根の乾かぬ内に減らした分議員報酬や調査費を増額しようというの、横しまなり方だ。

賛成討論

江守 勲

委員長の提案理由にもあったが、行政監視機能・チェック機能・政策立案機能の低下につながるよう今後も議会として検討していくとされていること。また、議会と語ろう会で参加者の発言の中に現状維持の声もあったが、それ以上にアンケートでは定数削減のほうが多かった。以上のことを踏まえ、定数削減に賛成する。

反対討論

上田 誠

議員定数を18名から14名と性急に削減することに次の点で反対する。議会議員は住民の代表（声）としての責務があることから①各界各層からの多様な声（特に女性や若者が狭くなる）②行政監視の弱体化③議員の特権・特定化を招く④決議機関として人数の確保⑤議会の改革、資質向上は削減によらない。などから反対する。

賛成討論

中村勘太郎

議員定数削減について、4名削減の14名定数改正案の賛成の立場から賛成意見を言う。議員定数については、これまでに何回となく永平寺町民の方々と議会と語ろう会で、また、議員とも討議、討論を重ね進めた。これらにより、個々議員の資質の向上を図るためにも、行財政改革を進める議会として、自らが率先して身を切る覚悟での判断が必要である。以上のことから、議員定数削減について賛成する。

平成27年度
一般会計3月補正予算
8,030万円

当委員会に委託された「平成27年度一般会計補正予算」から「同上水道事業会計補正予算」までの7件について慎重に審議を行い、全て賛成全員にて可決した。

予算決算常任委員会審査報告

【主な項目】

セキュリティ対策費 1,830万円 (マイナンバー制度対策)	国庫補助金 660万円
低所得高齢者給付金 6,130万円	全額国庫補助金
農地中間管理事業費 3,800万円 (農地集積協力金)	全額県補助金

平成28年度当初予算
147億4,670万円

一般会計	91億5,098万円
特別会計	49億6,732万円
企業会計	6億2,840万円

当委員会に付託された「平成28年度一般会計予算」から「同上水道事業会計予算」までの7件について慎重に審議を行い、原案通り可決した。今年度の予算は、国の示す社会安定的な人口確保と少子化社会への対応としての地方創生を受け、当町も「永平寺まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、また28年度からの普通交付税の合併算定替措置の段階的削減を受け、中長期的な財政の健全性を確保するための「中期財政見直し」の改定も策定した。今後特に重要となる高齢者対策への取り組みや、人口の減らない、住みたくなる町の実現、子育てや教育、特色ある本町の観光資源を活かした観光振興、永平寺ブランド推進、地域防災力強化及び、30年開催の「福井しあわせ元気国体」受け入れなど、本年度予算の主な事業は、新規41件、拡充8件、継続18件、計67件を中心に事業の目的、位置づけ、効果、財源措置、将来負担など慎重に審議した。

【主な項目】

防災行政無線整備費 2億3,210万円 (永平寺・上志比地区デジタル化)	県補助金 260万円 合併特例債 2億1,800万円
ふるさと創造プロジェクト費 1億7,850万円 (旧織物会館整備)	県補助金 7,200万円 合併特例債 1億円
観光まちなみ魅力UP費 2億3,340万円 (門前開発整備)	国庫補助金 8,050万円 県補助金 6,040万円 合併特例債 7,200万円
旧消防庁舎改修費 1億3,130万円	合併特例債 1億1,800万円

主な質疑応答

平成27年度3月補正予算

◆総合政策課
問 住まいる定住応援事業の増額の内容は、定住支援策の広報や、利用者のアンケート等併用し使いやすい制度にすべく対応を。
答 予算計上の20件を既に執行し、8件の増額をするもの。今後HPや雑誌・店頭でのPR強化と効果的な関係機関へのチラシ配布を行い、本町への定住拡大に努める。

◆福祉保健課
問 予防接種の委託料400万減額であるが向上に向けた対策を。
答 要因は接種者減。受けられないリスクの周知を行う。

◆農林課
問 農地中間管理事業の地域集積協力金の活用方法は。
答 交付される地域において決めている。また、地域での話し合いにより、農家の中心経営体や土地改良などに一任することができているが、使途契約書の作成が義務づけられている。

◆建設課
問 木造住宅耐震改修補助事業の申請件数の減をどう分析しているのか。
答 耐震診断後の耐震改修費用で、多額の改修費用が必要となる申請件数が伸びない原因です。

平成28年度当初予算

◆総務課
問 マイナンバー制導入支援の中間サーバープラ

示していく。

◆農林課

問 地産地消支援事業補助金はどこに補助するのか。
答 町内で生産した農産物・地元産のものを使用した加工品等を出荷する農林水産業者を対象とし、直売所及び道の駅等の出荷組合に加入している者に、出荷した売上高の2%を支援する。

◆商工観光課

問 人口減少の中で、観光客が増えることは嬉しいことだが、今後のインバウンド対策は。
答 門前に免税店ができないか協議をしている。ARやWiFiの整備を行い、スマホから情報が得られるような対応も行っている。広域の取り組みとして、越前加賀の5市町がインバウンド推進機構を組織し、お互いが情報発信していく。

◆建設課

問 多世帯同居・近居住まい推進事業の近居は定住促進地区に限定せず、もっと広い範囲でできないのか。
答 住まいる定住応援事業との制度内容の調整を図り地域を限定している。

◆税務課
問 納期限・納税の案内、収納事務合理化・効率化の推進体制は。郵送封筒への事業者広告採用の検討は。
答 賦課徴収事務のシステム化、支払報告書の発送事務のアウトソーシング、納税者への課税計算の啓蒙書配布を費用計上。郵送等に使用する町封筒への事業者広告も検討。

◆子育て支援課
問 嘱託保育士の改善を評価する。保育士の確保を。
答 処遇改善を図り、今後も対応していく。
問 改修計画の中間報告を示して欲しい。
答 計画を策定し示していく。

◆生涯学習課
問 松岡公民館の耐震改修を行うのか。
答 活用の多い施設であり改修をして活用を図る。

◆国民健康保険会計
問 公民館活動の目指す方向を明確に。
答 現地の視察は大事。地域性に合った公民館を目指す。

◆介護保険会計
問 旧上志比小体育館の活用を示すこと。
答 有効利用できる施設としていく。

◆福祉保健課
問 社会福祉協議会は政策のパートナー。連携を密に。
答 連携を密にし対応していく。

◆民生生活課
問 男女共同参画の推進は数値目標が必要。
答 アンケートで現状を分析し計画の中に数値目標を掲げ推進を図る。

◆消防本部
問 新消防体制で救急救命士の出勤体制強化は？
答 住民通報で状況が重篤な場合は救急救命士の増員乗車も対応。

◆福祉保健課
問 福祉活用に向けた管理体制を検討していく。
答 永平寺温泉の泉質や目的

成したが、平成28年度には「公共施設等総合管理計画」を策定予定。どのような手順と到達点を描くのか。
答 全57施設を対象に計画策定。当面維持管理費は4、5百万の節減とマンパワーの有効活用を描く。有利な条件で起債できる合併特例債や、除却債を活用出来る国の支援期間中に取り組みたい。この期間を逃すと町単独で取り組むこととなりかなり困難となる。中期財政見通しで示した平成32年度の財政調整基金必要取崩し額、2億5千万円程度の経費圧縮が必要。

◆総合政策課
問 織物会館跡地のふるさと創造プロジェクト施設は何を目指すか。収益を目指すのか。
答 地域交流活動を推進する場、イベントをやる場として、地域交流人口拡大の為に地域資源の情報発信・賑わい創出のベース施設。収益施設としての位置づけはない。地域おこし協力隊メンバーも参加頂き、町民の方もつどって頂く町中交流の場、パブリックビューヤにぎわいの場として来年4月オープン予定。

◆財政課
問 行財政改革において回避の公共施設再編計画を作
答 従来設備の再利用含め見積依頼するも、30年程度経過しており設備は新設となった。見積を踏まえ費用負担の点で2年分割実施も検討したが、分割実施すると1000万円の費用増額となり単年度施行とした。システム切替に当っては情報伝達の切断のないよう注意を払う。

◆民生生活課
問 永平寺温泉の泉質や目的

永平寺町不服審査会条例の制定、 地方公務員法の一部改正等、 12議案成る

総務常任委員会 委員長 中村勘太郎

本委員会は3月9日に全委員出席のもと開催し、総務関係の今議会に付託された案件について慎重に審議した。

- 議案第15号 永平寺町行政不服審査会条例の制定について
- 議案第16号 行政不服審査法等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第17号 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第18号 永平寺町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第19号 永平寺町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 永平寺町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第21号 永平寺町税条例一部を改正する条例の制定について
- 議案第22号 永平寺町永平寺開発センター条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第23号 永平寺町消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第24号 永平寺町消防本部消防職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第25号 永平寺町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第26号 福井県市町総合事務組合規約の変更について

………採決の結果、委員会全員賛成により可決

高齢者対策など質疑

教育民生常任委員会 委員長 滝波登喜男

当委員会は、3月10日午前9時から、委員5名の出席のもと開催しました。議題は、平成28年度事務事業のうち、特に審議したい次の10項目です。

- ①男女共同参画事業10年間の取り組み
 - ②社会福祉協議会への補助金の使われ方
 - ③地域包括ケアシステム確立に向けての協議状況
 - ④地域支援事業の取り組み
 - ⑤やすらぎの郷の活用計画
 - ⑥健康福祉施設「禅の里」の経営状況
 - ⑦幼稚園・幼児園の改修計画
 - ⑧永平寺支所4階の改修案
 - ⑨松岡公民館耐震診断結果
 - ⑩旧上志比小体育館再利用に係る費用及び活用計画
- (主な意見)
- ・社会福祉協議会と連携強化を図ること。
 - ・松岡公民館耐震及び改修計画は、将来のことを含めて十分検討すること。
 - ・旧上志比小体育館再利用は、関係団体と十分協議すること。

町林業振興集会所センターを譲与

産業建設常任委員会 委員長 朝井征一郎

今回は、本会議において当委員会に付託された、議案第27号永平寺町林業振興集会所センターの譲与について、3月8日(火) 全員出席のもと開会し慎重に審議した。

(主な意見)

議案第27号永平寺町林業振興集会所センターの譲与については、行政財産を普通財産にして議会の同意を得て、無償で譲与する。

………採決結果、委員会全員賛成により可決

問&答

そこが聞きたい!

3月
定例会
一般質問

17名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

問 18歳からの選挙権の対応は

答 町選管とタイアップ啓発活動を



議員 小畑 傳

従来、20歳になれば成人式と選挙権が付与されたが、選挙権が18歳になり成人式との整合性は

【その他の質問】
「小中学校のクラブ活動支援を考える」

問 満18歳まで引き下げられた選挙権、今年に限り一挙に3ヶ年増えたがどれ位になるのか。

総務課長 平成27年4月1日現在、19歳222名、18歳201名、17歳181名の計608名で、転入・転出で多少の増減はある。

問 本町には高校がないが、中学校の学習指導要領では主権者教育が大切としている。対応はどのようなになっているのか。

学校教育課長 28年度から町選管と協力し選挙の意義や重要性を学習するため、明るい選挙出前塾の開催を考えている。

問 満18歳まで引き下げられた選挙権、今年に限り一挙に3ヶ年増えたがどれ位になるのか。

今まで通り20歳からと考える。

問 合併10周年次なる10年の課題は

答 人口減少の負のスパイラルが懸念

問 少子・高齢化・雇用の確保、農業などの産業復興、道路など社会資本の充実など山積み。今後も益々住民本位の町政が要求され、人口減少社会の到来は避けることが出来ない。人口減に対処することが要求されるが、その一つに学校の統廃合があると思う。これは地区・地域のあり方や将来ビジョン・方向性に大きく影響を与え、本町の先進教育行政や教育を最重要と考える町民の中では大きな議論とはならなかった。しかし人口2万人を切る中で小学校7校、中学校3校は多いのではないか。各小中学校の児童生徒数はどうなっているのか。

394人、吉野小で79人、御陵小で129人、志比小で170人、志比南小で104人、志比北小で36人、上志比小で27人となり、松岡中で322人、永平寺中で169人、上志比中で82人となっている。

問 従来、20歳になれば成人式と選挙権が付与されたが、選挙権が18歳になり成人式との整合性は

教育長 今、統廃合を考える状態ではない。小規模でもデメリットの少ない教育効果を考えている。

町長 まち・ひと・しごと政策で人口減の歯止めを、さらにまちづくり計画を作った、永平寺町に住みたいなど思ってもらおう。統廃合を考える前にどう人口を増やしていくか、しっかり考えたい。

問 実効性・成果を基に 新規事業をどう展開するのか

答 町の宝を見つけ育てたい



上坂 久則 議員

町長 成果達成に伴う、現状認識・課題の想定と、解決策は。

町長 まち・ひと・しごと総合戦略のなかで、計画・実行・成果調査・行動を繰り返し行い、事業の見直し、時にあったスピード感で対処したい。

問 専門性が高まる

町長 観光地・自然・人等といった宝。共通認識を高めるために、各小学校では体感・発見・認識のために勉強をしていく。

町長 情報共有化の大切さは痛感している。組織化に配慮して進める。

町長 観光地・自然・人等といった宝。共通認識を高めるために、各小学校では体感・発見・認識のために勉強をしていく。

問 永平寺町の「食の文化」とは、どのように感じているのか。伝承料理の保存のために映像化すべきと思うが、考えは。

町長 具体的には天然記念物のアラレガコや葉っぱ寿司等がうかぶ。アラレガコの単体だけではなく、河川流域も天然記念物となっていること、葉っぱ寿司誕生の由来等も周知していきたい。データ化も検討したい。

問 町費負担で料理の再現を実施すべきだが。

町長 提案には興味がある。検討したい。

町長 観光地・自然・人等といった宝。共通認識を高めるために、各小学校では体感・発見・認識のために勉強をしていく。

町長 提案には興味がある。検討したい。

問 生涯学習課長 浄法寺地区の若鮎グループによる報恩講で出す料理のデータがある。食材、料理名、配膳等の記録を保存して後世に伝えていく。

問 町費負担で料理の再現を実施すべきだが。

町長 提案には興味がある。検討したい。

傍聴にお越しください

第3回 6月定例会 (予定)

5月 31日(火) 10時~	[本会議]
6月 6日(月) 7日(火) 8日(水) 10時~	[一般質問]
6月 9日(木) 9時~	[予算決算常任委員会]
6月 16日(木) 10時~	[本会議]

【予備日】17日(金)

問 「浄法寺山」町有林状況と展望は

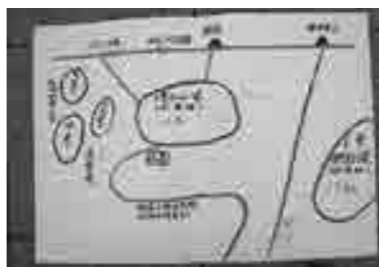
答 健全な整備を推進

問 ①広域避難に関し、永平寺町のメリット

答 今後は郵便局等とも計画

問 南越前町と災害時 相互応援協定

農林課長 ①町有林(蛇谷滝)、公団分収造林は概ね良好であるが、枝打ちや除間伐は必要である。



「上浄法寺」町有林図

町長 想定でなく、お互い県内の自治体の中で協力し合うことが第一。

町長 情報共有化の大切さは痛感している。組織化に配慮して進める。



長谷川治人 議員

問 ①町有林26・9ha。50年生育後の状況は。

町長 面積140・71ha。植栽83・89ha。樹種は杉71・89ha。檜3ha。赤松9ha。期間は当初50年、更新し90年または100年に。収益割合は町が60%、公団が40%。管理状況は、森林整備センターが施業計画と現地状況を見て予算化し、町が実施主体に。金額補助。



長岡千恵子 議員

問 旧消防庁舎の活用は

答 役場本庁として活用

問 町観光物産協会は外郭団体なので、本庁舎内

問 町観光物産協会は外郭団体なので、本庁舎内



旧消防庁舎

町長 来庁者との打ち合わせを事務所内で行っている。セキュリティの面でもオープンスペースが必要。教育委員会の本庁舎内への移転も考えたが、物理的な面で断念した。

町長 1階には住民生活課・福祉保健課・子育て支援課。2階は総務課・総合政策課・財政課・国体推進課・会議室。

町長 地域包括支援センターは福祉保健課と連携をとることが福祉サービスの充実になる。商工観光課と町観光物産協会も同様に連携することが必要である。



川治 孝行 議員

問 体育館の維持管理と改善を

答 事故対策に努める

問 体育館のフロアは、スポーツ愛好者の技術の向上と住民の健康づくりを効果的、計画的に推進し支援することが必要である。各体育施設では、文化祭等のイベント後の床のワックス掛けおよび床の状況点検はしているのか。

生涯学習課長 職員または管理人が確認している。

問 体育館フロアの滑り状況は誰がチェックしているのか、また利用状況報告書はあるのか。また、利用者の要望記入欄があるのか。

学校教育課長 小中学校では、教頭または体育主任がチェックしている。体育施設には管理日誌を常備しており、記入できている。

問 学校その他の体育施設のフロアの滑り状況について、聞き取り調査を行っているか。

生涯学習課長 聞き取り調査は行っていない。

問 上志比小学校の体育館は非常に滑る床であるが、体育館のワックスの種類と指導方法は、学校教育課長 ワックスは塗っていないが、雑巾のから拭きとモップにダストキーパーを付けて清掃をしていることから、今後調査する。

問 各体育館でのモップ清掃の管理指導をしているのか。

生涯学習課長 管理指導はしていない。

問 滑り防止対策には、日常の管理が大切である。体育館に入る際の土砂の侵入防止と、練習後のモップ拭き等の管理指導は行っているのか。

生涯学習課長 シューズの履き換えは玄関フロアシートで行い、土砂侵入を防止している。

問 上志比小学校体育館のバレーボールの支柱は、経年劣化と使用頻度

問 学校その他の体育施設のフロアの滑り状況について、聞き取り調査を行っているか。

生涯学習課長 聞き取り調査は行っていない。

問 上志比小学校の体育館は非常に滑る床であるが、体育館のワックスの種類と指導方法は、学校教育課長 ワックスは塗っていないが、雑巾のから拭きとモップにダストキーパーを付けて清掃をしていることから、今後調査する。

問 各体育館でのモップ清掃の管理指導をしているのか。

生涯学習課長 管理指導はしていない。

問 滑り防止対策には、日常の管理が大切である。体育館に入る際の土砂の侵入防止と、練習後のモップ拭き等の管理指導は行っているのか。

生涯学習課長 シューズの履き換えは玄関フロアシートで行い、土砂侵入を防止している。

問 上志比小学校体育館のバレーボールの支柱は、経年劣化と使用頻度

問 個人番号制度と情報漏えい対策は

答 情報が漏れないよう万全な体制で

問 マイナンバー制度は国民の個人番号として利用範囲の拡大を基本とし、交付申請書を全町民等に送付しカードを交付と同時に返還するが、その住基カードの発行枚数とパーセントは。

住民生活課長 昨年末までに発行した枚数は、2302件で人口割合で11・98%。

問 全町民等に送付した件数と未配付件数は。

住民生活課長 平成27年10月1日時点で人口19239人で、世帯数は6250世帯。その内未配付は126世帯分。

問 情報が流出した場合、情報が読めないようにファイリング対策をしたのか。

総合政策課長 マイナンバー情報を扱うネットワークシステムからインターネットを切り離し、サーバー攻撃やウイルス感染経路を分離している。また、情報対策としてデータが常に乗られるか疑問な部分があり、イベント、催し物の時だけ使うと言うものではなかなか通常難しい。いろんなことから今後検討していくのが妥当ではないか。

問 一家族一連の返信封筒では、家族がバラバラに申請する場合やマイナンバーカードを窓口で交付時に持参するものは、まだ町民に知らされておらず二重手間になるのでは。

住民生活課長 申請時来庁方式とカード交付時来庁方式があり、交付来庁方式は返信封筒にて東京



伊藤 博夫 議員



マイナンバー説明資料

の地方公共団体情報システム機構へ返送し役場の窓口交付状により持参するものをお知らせしてあり二重手間にならないよう交付時来庁方式を極力推奨している。

問 サンサンホールの最寄駅新設を

答 費用対策効果で厳しい多方面から検討



朝井 征一郎 議員

問 永平寺町においてサンサンホールでの行事が多くなる中で、参加するためには交通の便が悪い、なかなか参加できないと言っていることから、住民の利便性を考える必要はないか。公共施設を利用することにより町の活性化につながる



新設を望むサンサンホール駅

の高さや老朽化により、ネット張りの時支柱の止め金が外れ落下したこともあり、非常に危険な状態である。器具の調査と更新は。

生涯学習課長 体育器具は日頃より保守点検を行い、適宜更新している。滑りはダストキーパーが原因なのか今後調査する。

問 体育館を利用する使用者全員で、より良い環境を創りだすための合同会議を開催しているのか。

生涯学習課長 団体代表者を対象に調整会議を開催している。

【その他の質問】
「道路埋設施設と路面整備について」



問 認知症高齢者増に伴う対策を

答 支援の助成を検討

問 地域住民自身に制度の理解と情報提供が必要であると思われる。地域包括支援センターの充実、高齢者の在宅を防ぐためにも、民生委員と連携して「認知症カフェ」を早急に立ち上げ、高齢者が家から外に出て、いろんな人と話をして認知症にならないように。

厚生労働省によると介護保険料が上がることから

問 地域住民自身に制度の理解と情報提供が必要であると思われる。地域包括支援センターの充実、高齢者の在宅を防ぐためにも、民生委員と連携して「認知症カフェ」を早急に立ち上げ、高齢者が家から外に出て、いろんな人と話をして認知症にならないように。

厚生労働省によると介護保険料が上がることから

問 初診料が変わる。そこで、かかりつけ医師、在宅での（往診）医師を増やしてほしい。

福祉保健課長 厚生労働省が認知症政策推進計画を公表している。この中で認知症の人やその家族の方に対する支援として認知症カフェを推進している。町として認知症カフェについて支援という形で助成をする。お医者さんにつきましては、

【その他の質問】
「中1ギヤップ解消へ、小中兼務教員を」

でも、大変多忙で在宅介護と介護連携の中、実際、かかりつけ医師が少くないというのが現状。



問 歳入財源の確保は大丈夫か

答 確実に収入として見込める額を計上



齋藤 則男 議員

問 守りの町政ではなく攻めの町政運営を切望するとともに、多くの町民の期待の中でのこの予算編成、そして議決後はこの予算の執行に当たるそのお気持ち、意気込みは。

町長 今回の予算編成に当たり、昨年からの、まち・ひと・しごと等、いろいろ計画を進めてまいりました。今年はいよいよその実行の年、動き出すという年ということ

予算を編成した。攻めの行政というお話がある意味守らなければいけないものもいっぱいある。予算の執行に当たっては、効果が出るような予算の執行を心がけて、頑張っていきたい。

問 旧上志比役場庁舎を解体し、新たに新設案が提示されたが。

町長 新築し、今の事務機能と会議スペースはしっかりと整備させていた。40年、50年と上志比の拠点となる施設になるよう考えている。

問 定年を迎えた中高年層。老人福祉センターに行くにはちよっと抵抗が

ある、そんな高齢者とは言われない中高年者たちが集える憩いの場。老人福祉の観点からは少し離れた角度からのあらたな福祉施策として、この支所機能の計画の中に取り入れられているかどうか。

町長 上志比の清水地区の旧小体育館、町民、高齢者の皆さんが気軽に触れ合える、雨が降っても雪が降っても運動がで



上志比支所

理、大会記録、広報等があり、ボランティアに掛かる経費は、帽子、ジャンパー、IDカード等で一人約5〜6千円の費用となる。

問 期間中の競技役員や選手団の宿泊プランは。

生涯学習課長 選手、監督、大会関係者の宿泊は

広域配泊といって、近隣市町への配泊を行うことになっている。

問 町長は、この国民体育大会の成功に向け、町民の皆様にご理解と協力を頂けるための、チーム永平寺町の意気込みは。

町長 多くの町民の皆様

に参加し、関わっていただき、思い出に残り語り継がれるような、スポーツ振興の国体になるよう全力で取り組み、町民の元気につながる大きな実りに結びつくよう、また、町の産業経済の発展効果につながるよう頑張る。

問 しあわせ元気国体に向けて

答 思い出に残り語り継がれる大会に



中村 勤太郎 議員

問 50年ぶりとなる、しあわせ元気国体。町としての位置付けは。

生涯学習課長 活力ある町、強い永平寺町のシンボルとして位置付け、心豊かでたくましい人づくりなど地域活性化に向け、町民と協働のもと、いつまでも心に残る真心のこもった大会を目指す。

問 本町では、ソフトボール、ハンドボール、バスケットボールの競技が開催されるが、競技の運営費の具体的な内容と、予算の財源は。

生涯学習課長 主なものとして、会場本部、控室、仮設物の設置や、一般観覧席、おもてなしコーナー、各



永平寺町はびねずダンス

テント、トイレや発電機、放送設備の設置。また、競技役員やボランティア等スタッフの識別用品や輸送バス等が必要となる。これらの運営経費の財源は、県からの補助金3分の2を見込んでいます。

問 各種競技運営の絶大なサポートとして、一般ボランティアが必須だが、その役割と活動期間及びそれらに係る必要経費は。

生涯学習課長 ボランティア活動には、選手、来賓者、観客者の受付案内や、おもてなしコーナーサービス、会場内外の環境美化、式典の運営補助、福祉補助、交通整

問 各市町との広域連携の展望は

答 お互いを尊重しながら進めていく



江守 勲 議員

問 各市町との広域連携をする目的やメリットは。

総務課長 防災面では、日ごろから地域内外でのネットワーク作りが災害時の応援協力に役立つと考えている。

商工観光課長 観光面では、観光のニーズに合った観光施策の一つとして広域連携をし、各市町においても少ない経費で今までのPRができ、お互いのいい所を尊重し協力し合うことで魅力向上にもつながり、スケールメリットも生まれると考えている。また、国や県の交付金事業、補助事業においても広域連携は大きな評価ポイントになっており、今後一層の広域連携

政策立案の能力向上に活かされていると思っております。

問 広域連携の今後の展望は。

総務課長 連携事業の一つの契機として、地域と地域のつながりを人の流れに反映できるように日ごろより継続的に行

問 広域連携の今後の展望は、永平寺町の役割と

商工観光課長 観光地としての経験を生かしつつ、お互いの役割を尊重し、関係市町とともに情報発信していくことが求められていると認識している。

問 広域連携の施策の一つとして、国に加速化



5市町広域観光連携

が必要になると考えている。

総務課長 政策面では、小規模の単自治体では対応できない政策に対し、自治体間の広域連携を組むことで費用と便益のありかたについて合

問 公共施設の再編で上志比旧役場庁舎は

答 地域住民の方にとっては重要な支所

問 今、町で進めている公共施設の再編計画は。

財政課長 公共施設再編計画につきましては、平成27年度から31年度までの5年間の計画というこ

とで進めている。

問 旧上志比役場庁舎を解体し、新たに新設案が提示されたが。

町長 新築し、今の事務機能と会議スペースはしっかりと整備させていた。40年、50年と上志比の拠点となる施設になるよう考えている。

問 定年を迎えた中高年層。老人福祉センターに行くにはちよっと抵抗が



多田 憲治 議員

問 本町の人口増対策は何処へ

答 地元同意を得られれば補正対応で

問 人口増対策が急務として、昨年度実施した宅地候補地選定による造成費予算が今回計上されていないが。

総合政策課長 宅地造成候補地として、小学校までの距離が2キロ以下を基本条件として選定した。今後、地元振興会・町内会・地権者の方々に説明会を開催し、同意を得られれば補正予算を編成し、用地買収・実施設計・分譲と進めてまいりたい。

問 町は今日まで上志比中学校の東隣、松岡西野中地区の宅地造成、また

答 4年間の定住促進事業として人口増対策を実施してきたが実績は。総合政策課長 上志比地区の栗住波団地では、平成27年4月1日現在で15世帯50名、松岡西野中団地は、18世帯64名。定住促進事業では4年間の実績としては100戸、人口で356人増の実績があった。

問 昨年度実施された国勢調査の結果により新聞等で前回より757人減

答 2年間の定住促進事業として人口増対策を実施してきたが実績は。総合政策課長 上志比地区の栗住波団地では、平成27年4月1日現在で15世帯50名、松岡西野中団地は、18世帯64名。定住促進事業では4年間の実績としては100戸、人口で356人増の実績があった。



問 ケーブルテレビ 民間移譲は問題

答 決定ではないが協議を進めたい



上田 誠 議員

問 この国CATV事業は①情報格差の是正②農林業の振興③福祉の向上④活力ある町づくり推進が目的で出された。また、行政の告知や広報、防災情報提供の役割がある。特異性として①元々放送難視聴地域で松岡（一部吉野地区を除く）地区外全ては共聴地区②加入率97%③行政運営で低料金④行政chによる公共性などがある。問題は①加入しないとテレビが

答 見られない②今後料金設定（民間との差）③放送の方式が異なるなど。総合政策課長 設備更新などの財政負担の観点から検討し、民間と運営協議を進めたい。まだ決定ではない。

問 特異性から「住民理解」や「公共性」「絶対加入」と「料金」など課題は大きい。

町長 意見を聞きながら慎重に対応していく。

問 町内の危険箇所への対応は

答 パトロールでチェック対応

問 新消防庁舎を共用前に見直し、情報収集と初動体制の重要性を目的に安全に期待できる。

答 昨年何度か道路設備の不備が原因による自損事故があったが、これは雪解けの春先に多い。側溝のフタの歪みとか、ガードレールの曲がりなど、直接的に事故に繋がる。危険な場所のチェックは。建設課長 除雪後や、業務中のパトロールでチェックし、グレーチングの破損やガードレールの曲がりなどは危険箇所として明示し、業者に修理を依頼している。

問 特に最近山奥の野生動物が餌を求めて下りてくる。鹿の群れも多しとの報道もあるが、そのような山の動物の危険に対しては、どのように対処しているのか。

答 住民生活課長 危険なゴミ屋敷の定義は判断が難しい。屋敷内のゴミが何かの原因で大火事になるとか、不衛生な状態から害虫の発生など想定できるが、その人の価値観やモラルの問題であり、現場が踏み込むことは大変難しい。地域の住民に被害があれば、何らかの対処が必要。



楽間 薫 議員



オープンした道の駅

問 道の駅「禅の里」のオープンに向けて

答 協力して集客向上

問 我が町の道の駅が3月19日にオープンする。成功に向けて行政はどこまで関わるのか。

建設課長 道の駅駅長会

問 道の駅「禅の里」のオープンに向けて

答 協力して集客向上

問 我が町の道の駅が3月19日にオープンする。成功に向けて行政はどこまで関わるのか。

建設課長 道の駅駅長会

問 予算から「みえない」公民館活動

答 現状や現場の声を反映する予算に

問 町方針に、まちづくりは町民主役、自発的参画の環境の推進。そのためには公民館を核とした展開を示してきたが、予算に大きく反映されていない。

町長 活動の中心となる（館長）予算で現状や現場の声を反映する。教育長 公民館長を中心に、主事、運営委員と連携した組織をつくり対応する。

問 公民館の位置づけ、あり方、体制の方針を策定委員会を設け、明文化と図式化で示すべき。

教育長 館長を中心に近づけるよう頑張っていく。

問 将来を見据えた介護保険の状況は

答 厳しい状況だが町民理解と共に

問 今後の介護保険は在宅医療、介護連携、認知症、生活支援、介護予防など将来を見据えた充実策が求められている。また、要支援者の対応は。福祉保健課長 来年4月スタートに向けて体制を

問 認知症の初期集中支援チーム、地域支援推進員は。福祉保健課長 認知症の専門性もあるので、県内広域的な方向で。また、介護予防の拠点の整備と

問 集落単位、地区（公民館）単位での対応を住民との連携が必要となるが。福祉保健課長 町民の理解と意識を頂き共に進めたい。

問 創生戦略の効果と今後は

答 80万人超えの誘客可能



滝波登喜男議員

問 地方創生は、人口減少や少子高齢化、東京一極集中という課題解決のためのもので、定住人口、滞在人口、交流人口を増やす施策が必要。ミラノ博での禅のPR、首都圏へのポスターやイベントなどをやってきたが、その効果と今後の計画は。

商工観光課長 新幹線効果もあり、本山の観光客数は58万人と10万に伸びている。今後、福井団体

問 昨年、森ビル(株)と「まちづくり基本協定」を結び、地域創生の計画策定、ブランド戦略、情報発信などの支援を5年間受けることになったが、その成果は。

総合政策課長 首都圏の

問 最近、全国で介護施設での虐待や在宅介護の疲れからの殺害など非常に多くなっている。町の状況把握とその対策は。

答 相談員の派遣実施

福祉保健課長 介護施設に相談員を派遣し、入所者からの相談や見廻りの報告を毎月受けている。在宅は分かりにくいのが、

問 高齢者の問題は町の責任で

問 町長は、「まちづくり会社」設立について言及しているが、具体的にどのようなものなのか。

町長 行政が直接やるのが難しい事業を、大学や銀行などが連携して、まちづくりのための会社

答 行政の出来ないことを

問 「まちづくり会社」とは

町長 行政が直接やるのが難しい事業を、大学や銀行などが連携して、まちづくりのための会社をつくり、それに取り組む。そこには、当然利益を生むよう考えている。

総務課長 27年度は、消防職員が生活安全室に出向することで、自主防災組織や連絡協議会の確立等に大きな成果を上げ、専門職の大切さを実感している。子育てや福祉など、専門性の高い分野については、人事異動や、人事交流も含め考えていきたい。

答 10月をめどに考えていく

問 地域支援事業の制度設計を

問 29年度から実施の介護地域支援事業のサービス。単価によっては、民間事業者はサービス提供に難色を示す。町で施設整備も含め計画を作るべきか。

福祉保健課長 サービスの単価の引き下げは事業者との調整が必要だ。来年度4月からのスタートの中で、方向性は検討中という状況だ。

問 子育てセンターの活動充実を

答 家庭訪問も考えたい

問 本町の職員にも専門的知識を持つ人はいる。保健師や保育士、ケアマネージャーなど福祉の専門職、簿記の有資格者もいる。他に専門知識を学んできた人もいるはず。行政事務や事業計画づく

答 人事異動や交流の中で考えたい。現場も含め経験した人でないと理解できない点等もあるはず。専門知識を持つ職員の活用では、現場から引き上げることも含め、町として考えていることはあるのか。

問 専門的知識を持つ職員の活用を

問 上志比中学校の給食試食会で無言給食を目的とした。学校は修行的な場ではなく、生徒のよりどころ、楽しい場であるべきだ。オリンピック候補選手の合宿所でも食事時の会話はストレスの解消に必要な時間だとして。無言給食、再

答 礼の心の教育の一環。考の時期にきているのではないか。教育長 伝統的に行われている礼の心の教育の一つ。校門での礼とか無言清掃、無言給食、丹精などがあふ素晴らしい活動だ。昭和50年代に始められたもので、教育の一環として行っている。

問 学校の無言給食は再考を

答 礼の心の教育の一環



金元 直栄 議員

問 観光誘客を町の均衡ある発展へ

答 点から面、エリアの魅力を発信

問 門前街並み魅力アツプ事業、上志比道の駅、松岡にぎわい交流拠点成形を現してくる。こうした事業が町の均衡ある発展、各地区の特色ある発展へと繋がり、町域全体として観光誘客拡大の効果を図る戦略は。

商工観光課長 点から面、エリアとしての魅力発信が鍵、恐竜博物館や朝倉氏遺跡への客を永平寺へ導く広域連携観光戦略推進。本町の2トップ、大本山永平寺と禅文化、鮎・サクラマスの聖地九頭竜川、食・生活・文化を発信。各エリアの地域資源を結び付け滞在時間の延長と町内消費の拡大を目指す地域再生整備計画を行



松岡のお殿様をスッポンから助けた一鳥入道の民話のある平慶寺(兼定島)

問 門前街並み魅力アツプ事業、上志比道の駅、松岡にぎわい交流拠点成形を現してくる。こうした事業が町の均衡ある発展、各地区の特色ある発展へと繋がり、町域全体として観光誘客拡大の効果を図る戦略は。

商工観光課長 点から面、エリアとしての魅力発信が鍵、恐竜博物館や朝倉氏遺跡への客を永平寺へ導く広域連携観光戦略推進。本町の2トップ、大本山永平寺と禅文化、鮎・サクラマスの聖地九頭竜川、食・生活・文化を発信。各エリアの地域資源を結び付け滞在時間の延長と町内消費の拡大を目指す地域再生整備計画を行



奥野 正司 議員

問 門前街並み魅力アツプ事業、上志比道の駅、松岡にぎわい交流拠点成形を現してくる。こうした事業が町の均衡ある発展、各地区の特色ある発展へと繋がり、町域全体として観光誘客拡大の効果を図る戦略は。

商工観光課長 点から面、エリアとしての魅力発信が鍵、恐竜博物館や朝倉氏遺跡への客を永平寺へ導く広域連携観光戦略推進。本町の2トップ、大本山永平寺と禅文化、鮎・サクラマスの聖地九頭竜川、食・生活・文化を発信。各エリアの地域資源を結び付け滞在時間の延長と町内消費の拡大を目指す地域再生整備計画を行

議会・各委員会の議員出席状況 ○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退 ー…員外 傍…傍聴 弔…弔事 研…研修

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑傳	上田誠	金元直栄	樂間薫	齋藤則男	伊藤博夫	奥野正司	中村勘太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	川崎直文	
	臨時会		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	○	ー	○	ー	ー	
	議会運営委員会	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	○	○	○	ー	傍	ー	傍	
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	ー	○	ー	○	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	○	○	○	ー	傍	ー	傍	
	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会	ー	○	ー	ー	○	傍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	総務常任委員会	ー	ー	ー	ー	○	傍	ー	傍	○	○	○	○	○	○	○	傍	ー	○	○
	産業建設常任委員会	○	ー	○	○	ー	傍	ー	傍	○	○	○	○	○	○	○	傍	○	傍	○
	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	△	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問2日目)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問1日目)	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	ー	○	ー	○	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	○	○	○	ー	傍	ー	傍	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	議会運営委員会	ー	○	ー	○	ー	ー	ー	○	ー	○	ー	○	○	○	ー	傍	ー	傍	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	ー	○	ー	○	ー	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	ー	ー	ー	ー	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会	○	ー	○	○	ー	ー	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数																			
	会議回数																			
	出席率																			

問 九頭竜川流域防災センターに案内人配置を



酒井 要 議員

答 町では配置できない



問 町民からの声で、観光の名所にアユ釣り、サクラマス、アラレガコなどが釣れることが有名である。テレビで川底の魚の泳ぎなども見られることが大変珍しい。国交省の担当する場所ではあるが休日だけ町の案内人を配置できないか。

建設課長 九頭竜川流域防災センターは、九頭竜川の治水や歴史、九頭竜川全般について学べる施設。現状としては、平日はスタッフが1名のため、施設巡回等で不在になることもあり、自由見学という位置づけとなっ

問 自然を愛する者にとつては大変良い施設。私の家に小学生二人います。「まだ私たちが見ていません」と言う。春休み、夏休みに子ども達に自然のそいつた所を見せることが大事だと思うが。

教育長 ドラゴンリバー交流会は、毎年小学生を対象に、魚遊びをしたり、魚を焼いて食べたりする企画をしている。上志比小学校の方にも、パンフレットを配布案内している。ぜひ参加してほしい。

ている。町の方で新たに案内人を配置することはできない。今後は担当者が不在の場合は、所在がわかるように表示していただく等、利用者の方に見えるだけ気持ちよく見学して頂けるように何か工夫をお願いしていきたい。

議会改革議員県外視察研修 平成28年2月4日(木) 山梨県昭和町役場(議会)

- 【研修内容】**
1. 町議会災害対策本部設置要綱の制定について
 2. 議会モニター制度について
- 【研修目的】**

永平寺町において、地震をはじめ風水害等の大規模自然災害が発生しときに、町議会も町災害対策本部と連携し、災害活動支援を、議員自ら迅速且つ、適正な判断・対応を図れるようしっかりとした行動をしなければならない。

このため、制定に向け県外先進地事例を学び、災害時議員行動マニュアルを制定し、議会行動として、災害時はもとより平時において、例えば、町内にある避難所の様々な課題等を現地調査し、地域の声により反映できるよう議会でまとめ、行政に進言できる体制を整え、安全で安心な町づくりを進めたく、視察研修を実施しました。



また、議会モニター制度は、町内居住者の中から選出された議会モニター委員が、町定例会や各常任委員会等の会務を傍聴し、議会全体に対して意見提出等を議会に進言する制度で、その率直な意見に対し議会も向き合い、町民との架け橋のような存在となり、町民との距離を縮め開かれた議会に繋げるような議会改革ができないかと、視察研修を実施しました。

(中村 記)

視察レポート

政策づくり活動の視察

平成28年2月5日(金) 長野県阿智村(議会)



2月5日、長野県阿智村議会を視察しました。阿智村は、長野県の南部に位置する農山村で、面積約170平方キロメートル、人口約6500人です。議会は、12人の議員で構成され、平成26年度全国町村議会表彰を受けています。今回は、政策づくりの充実について視察しました。

阿智村は、住民で作る8つの連合自治会があり、それぞれが5ヶ年計画を作成している。議会は、その自治会や各種団体と懇談会を持ち、意見や要望の反映を考えている。また「議会政策検討委員会」を設置し、毎年テーマごとの分科会

に分かれ、毎月1回以上議員会議を持ち、調査研究結果を文書に取りまとめ、村に提言している。議会の精力的な活動を見聞きし、少しでも取り入れたいと思います。(滝波 記)

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間
2016年4月22日(金)～5月4日(水)

時	4月22日(金)	4月23日(土)	4月24日(日)	4月25日(月)	4月26日(火)	4月27日(水)	4月28日(木)	時
7	00 2月23日 開会	00 3月3日 予算決算常任委員会②	00 3月7日 予算決算常任委員会①	文字告知放送	00 3月1日 一般質問③ 金元直栄議員 滝波登喜男議員 酒井要議員	00 3月4日 予算決算常任委員会④	00 3月11日 本会議②	7
8		46 文字告知放送	16 文字告知放送		46 文字告知放送		44 文字告知放送	8
9	00 2月29日 一般質問① 小堀博議員 長谷川治人議員 長岡千恵子議員	00 3月3日 予算決算常任委員会③	00 3月7日 予算決算常任委員会②		00 3月3日 予算決算常任委員会①	03 文字告知放送 3月4日 予算決算常任委員会⑤	00 3月28日 臨時議会	9
10		39 文字告知放送	46 文字告知放送		10 文字告知放送		35 文字告知放送	10
11	53 文字告知放送	00 3月3日 予算決算常任委員会④	00 3月7日 予算決算常任委員会③	00 2月23日 開会	00 3月3日 予算決算常任委員会②	05 文字告知放送 3月7日 予算決算常任委員会①		11
12	00 2月29日 一般質問② 上坂久則議員 川治孝行議員 伊藤博夫議員	23 文字告知放送	12 文字告知放送		46 文字告知放送			12
13	52 文字告知放送	00 3月4日 予算決算常任委員会①	00 3月7日 予算決算常任委員会④		00 3月3日 予算決算常任委員会③	16 文字告知放送 3月7日 予算決算常任委員会②		13
14	00 2月29日 一般質問③ 船井正一郎議員 中村勲太郎議員 江守勲議員	01 文字告知放送	59 文字告知放送	16 文字告知放送	00 2月29日 一般質問① 小堀博議員 長谷川治人議員 長岡千恵子議員	39 文字告知放送		14
15	33 文字告知放送	00 3月4日 予算決算常任委員会②	00 3月11日 予算決算常任委員会①		53 文字告知放送	46 文字告知放送 3月7日 予算決算常任委員会③		15
16	00 3月1日 一般質問① 齋藤剛男議員 多田憲治議員 樂間薫議員 上田誠議員	43 文字告知放送	37 文字告知放送		00 2月29日 一般質問② 上坂久則議員 川治孝行議員 伊藤博夫議員	23 文字告知放送		16
17	47 文字告知放送	00 3月4日 予算決算常任委員会③	00 3月11日 本会議①		00 3月4日 予算決算常任委員会①	12 文字告知放送 3月7日 予算決算常任委員会④		17
18	00 3月1日 一般質問② 上田誠議員 奥野正司議員	39 文字告知放送	01 文字告知放送		52 文字告知放送	00 3月7日 予算決算常任委員会④	16 文字告知放送	18
19	46 文字告知放送	00 3月4日 予算決算常任委員会④	00 3月11日 本会議②		00 2月29日 一般質問③ 船井正一郎議員 中村勲太郎議員 江守勲議員	01 文字告知放送 3月4日 予算決算常任委員会②	00 2月29日 一般質問① 小堀博議員 長谷川治人議員 長岡千恵子議員	19
20	00 3月1日 一般質問③ 金元直栄議員 滝波登喜男議員 酒井要議員		44 文字告知放送		00 3月28日 臨時議会	43 文字告知放送 3月4日 予算決算常任委員会③	53 文字告知放送	20
21	46 文字告知放送	03 文字告知放送	00 3月28日 臨時議会		47 文字告知放送	37 文字告知放送 3月11日 本会議①	00 2月29日 一般質問② 船井正一郎議員 中村勲太郎議員 江守勲議員	21
22	00 3月3日 予算決算常任委員会①	00 3月4日 予算決算常任委員会⑤	35 文字告知放送		00 3月1日 一般質問② 上田誠議員 奥野正司議員	01 文字告知放送	52 文字告知放送	22
23	10 文字告知放送	05 文字告知放送			46 文字告知放送		33 文字告知放送	23
24								24

時	4月29日(金)	4月30日(土)	5月1日(日)	5月2日(月)	5月3日(火)	5月4日(水)	時
7	00 3月1日 一般質問① 齋藤剛男議員 多田憲治議員 樂間薫議員 上田誠議員	00 3月4日 予算決算常任委員会②	00 3月11日 予算決算常任委員会①	00 2月29日 一般質問② 上坂久則議員 川治孝行議員 伊藤博夫議員	00 3月3日 予算決算常任委員会④	00 3月7日 予算決算常任委員会③	7
8	47 文字告知放送	43 文字告知放送	37 文字告知放送	52 文字告知放送	23 文字告知放送	12 文字告知放送	8
9	00 3月1日 一般質問② 上田誠議員 奥野正司議員	00 3月4日 予算決算常任委員会③	00 3月11日 本会議①	00 2月29日 一般質問③ 船井正一郎議員 中村勲太郎議員 江守勲議員	00 3月4日 予算決算常任委員会①	00 3月7日 予算決算常任委員会④	9
10	46 文字告知放送	39 文字告知放送	01 文字告知放送	33 文字告知放送	01 文字告知放送	59 文字告知放送	10
11	00 3月1日 一般質問③ 金元直栄議員 滝波登喜男議員 酒井要議員	00 3月4日 予算決算常任委員会④	00 3月11日 本会議②	00 3月1日 一般質問① 齋藤剛男議員 多田憲治議員 樂間薫議員 上田誠議員	00 3月4日 予算決算常任委員会②	00 3月11日 予算決算常任委員会①	11
12	46 文字告知放送		44 文字告知放送	47 文字告知放送	43 文字告知放送	37 文字告知放送	12
13	00 3月3日 予算決算常任委員会①	03 文字告知放送	00 3月28日 臨時議会	00 3月1日 一般質問② 上田誠議員 奥野正司議員	00 3月4日 予算決算常任委員会③	00 3月11日 本会議①	13
14	10 文字告知放送	00 3月4日 予算決算常任委員会⑤	35 文字告知放送	46 文字告知放送	39 文字告知放送	01 文字告知放送	14
15	00 3月3日 予算決算常任委員会②	05 文字告知放送		00 3月1日 一般質問③ 金元直栄議員 滝波登喜男議員 酒井要議員	00 3月4日 予算決算常任委員会④	00 3月11日 本会議②	15
16	46 文字告知放送	00 3月7日 予算決算常任委員会①		46 文字告知放送		44 文字告知放送	16
17	00 3月3日 予算決算常任委員会③	16 文字告知放送		00 3月3日 予算決算常任委員会①	03 文字告知放送	00 3月28日 臨時議会	17
18	39 文字告知放送	00 3月7日 予算決算常任委員会②		10 文字告知放送	00 3月4日 予算決算常任委員会⑤	35 文字告知放送	18
19	00 3月3日 予算決算常任委員会④	46 文字告知放送	00 2月23日 開会	00 3月3日 予算決算常任委員会②	05 文字告知放送		19
20	23 文字告知放送	00 3月7日 予算決算常任委員会③		46 文字告知放送	00 3月7日 予算決算常任委員会①		20
21	00 3月4日 予算決算常任委員会①	12 文字告知放送	16 文字告知放送	00 3月3日 予算決算常任委員会③	16 文字告知放送		21
22	01 文字告知放送	00 3月7日 予算決算常任委員会④	00 2月29日 一般質問① 小堀博議員 長谷川治人議員 長岡千恵子議員	39 文字告知放送	00 3月7日 予算決算常任委員会②		22
23		59 文字告知放送	53 文字告知放送		46 文字告知放送		23
24							24

平成28年 第2回臨時会報告

議長 川崎 直文

平成28年第2回永平寺町議会臨時会が、3月28日(月)に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。今臨時会議案は委員会に付託することなく、本会議にて審議・議決しました。

第2回臨時会議案

議案第29号 平成27年度一般会計補正予算	可 決
議案第30号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可 決
議案第31号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	可 決

平成27年度一般会計補正予算

地方創生加速化交付金事業 5,100万円(全額国庫補助金)

国が地方創生加速化交付金1000億円を平成27年度補正予算に計上したことをうけて、本町も地方創生事業4件(永平寺町単独事業2件と他市町との広域連携事業2件)を国に申請した。申請した事業4件のうち2件が3月18日に認められ、地方創生加速化交付金の交付が決定した。予算は平成28年度へ繰越し執行される。

越前加賀インバウンド推進事業
負担金700万円

越前加賀の4市1町(あわら市・坂井市・勝山市・永平寺町・加賀市)の観光資源を結びつけ、魅力の向上、広域的旅行ルートを造成する。これにより国内のみならず東アジアや東南アジアなどの海外に対して滞在型観光誘客を推進する。これまでの「越前加賀宗教文化街道協議会」を「越前加賀インバウンド推進機構(仮称)」へと発展させる。

えいへいじ産学官協働
プラットフォーム
(地域資源活用型)構築事業
事業費4400万円

永平寺緑の村関連施設等地域資源の有効活用。寄付を受ける永平寺地区の旧家を学生、若者の参画できるプラットフォーム活動拠点施設(セミナーハウス等)に改修。学生、若者、子育て世代の人の流れを永平寺町に呼び戻すため「えいへいじ産学官協働プラットフォーム」を構築し、持続的な事業実施のためにプラットフォームは将来的には、えいへいじまちづくり会社へ移行する。行政、民間団体、金融機関からも出資をいただけるよう事業計画を立案する。

議会活動レポート

1/13 岩手県陸前高田市議会 来町



岩手県陸前高田市議会総務常任委員会の委員ら6名が「議会改革の取り組みと実績」「歴史的建造物および文化を活用した観光振興」についての視察のため来町しました。

3/3 議員3名が「防災士」資格取得



江守議員、中村議員、長岡議員の3名が、防災士の資格を取得しました。災害発生時における地域防災力の向上と連携の強化のため、議員も積極的に取り組んでいきます。

2/16 政策提案能力向上に向けて

福井県町村議会議長会の伊藤課長を講師に迎え、「一般質問のあり方」「意見書に関する考え方・手続き方法」についての議員研修会を行いました。議員の質問力を上げ、それを通じて政策提案能力向上に努めていきたいと思っております。



浅見雅楽保存会

上志比地区・浅見区の雅楽は、昭和2年に石上区の人から浄徳寺の住職らが楽器を譲り受け、住職が中心となり区の男性だけで雅楽会を発足させた。区や地区の祭礼や法恩講、結婚式などで演奏していたが、平成3年に後継者不足で途切れてしまった。

しかし、平成8年に区婦人会が中心となり、伝統芸能の雅楽会を復活させようとお寺にあった楽器を取り出したが、傷ん

でいる物もあり新たに購入もし、町外から指導者を招き本格的に練習に取り組み始めた。

笙(しょう)・箏(ひちりき)・横笛(おうてき)という楽器があるが、最初は、音をなかなか出すことができず、苦勞したとメンバーの皆さんが口を揃えた。笙は、湿気があると音が出ないため演奏の前後に電気コンロで温めなければならず、夏場の演奏は暑くて大変で、箏は口を当てる所が適度に濡れていないと音が出にくいので、演奏前に軽く唇を当て湿らせていた。音を出すだけでも一苦勞なのが印象的だった。現在は、50代～70代の女性14名が月1回のパート練習と月1回の全体練習しており、曲のレパートリーは、越殿楽(えてんらく)・五常楽(ごじよ



うらく)など5曲。本番では狩衣(かりぎぬ)という衣装を身にまとい報恩講や寺社の行事、老人施設などで演奏している。全体練習の様子を拝見させて頂いたが、楽器が奏でる音色はとても雅やかで透き通った音で、とても心が落ち着く。日本の雅楽は奈良時代におこり、中国の楽にインド、朝鮮の楽舞が加わり日本に伝来し、これに古代種々の音楽を交え、平安時代に宮中雅楽のみにとどまらず、寺院に及ぶようになった。遥か昔の音楽が悠久の時を越えて現代まで受け継がれていると思うと感慨深い。この伝統芸能が後世まで伝えられることを願いつつ、太古に想いを馳せていただきたい。

(江守 記)

編集者のひと言

3月議会も終わり、いよいよ本格的な春の訪れ。

今年の冬は、降雪量も少なく過こしやすい日々が続き年齢を重ねた私には本場に助かりました。

毎朝起きて除雪と愛車の始動までのあの作業が今年も殆どありませんでした。このような冬は73年の私の人生に初めてのことだと思えます。

最近毎年が異常気象と言われていますが、これもまた異常気象なのでしょう。ところが、正常な気象が何なのかも分からなくなります。

しかし、このような年は農作物の出来が悪いと聞きます。そういう事が無いことを心から祈ります。
(楽間 記)

議会広報特別委員会委員

- | | | | |
|-------|-------------|------|-------|
| 議長 | 江守 勲 | 副委員長 | 岡 千恵子 |
| 発行責任者 | 直栄・上田 誠 | 委員 | 樂 間 薫 |
| 川崎直文 | 金元 直栄・中村勘太郎 | | |